




SOMPO
損保ジャパン
代理店

e-ライフ総合保険

SOMPOひまわり生命
第一生命代理店

〒700-0823
岡山市北区丸の内2丁目12-20内山下ビル1階

✉ : e-lifesogohoken@n1002507.
insurance-agt.ne.jp



令和6年度 第2版

HPあります!
<https://e-lifesogohoken.com>

岡山市の浸水リスク、知ってましたか？

令和6年1月1日に起こった能登半島地震。この地震で多くの被害が出ている地域が線状降水帯により浸水や土砂災害も加わります。復旧が長引く現状。ようやく生活が安定してきた方々のご苦勞を考えると、本当に心が痛みます。

岡山でも西日本豪雨災害での大被害が起こっており、昨今の「想定外の」天候で、ハザードマップの周知や防災に対する認知もかなり進んできたように思います。特にハザードマップは、真備の実際の「浸水地域」と、ハザードマップで予想されていた「浸水予想地域」がぴったりと合っていたことが立証され、私達の住まいのハザードマップは大変重要な情報となっています。

岡山市の地図

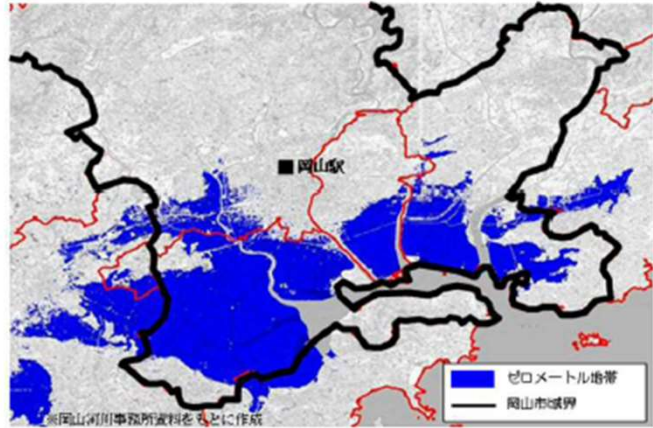


図 1. 岡山市のゼロメートル地帯



岡山の街の多くはゼロメートル地帯にあり、河川の水位よりも低いところに位置しています。

図 2. 岡山県南部の地盤高と河川水位の関係

雨水流出抑制対策の手引き 岡山市下水道河川局より抜粋

上記の地図を見ると、岡山市には大きな河川が多く、また古くからの干拓地ということもあり、岡山市内のほとんどが河川の低地や平均満潮位より低い土地であることがわかります。いったん大川が氾濫すると、市内に水が流れ込み多くの箇所が水没し、且つ、なかなか水が引かないことが予想されます。

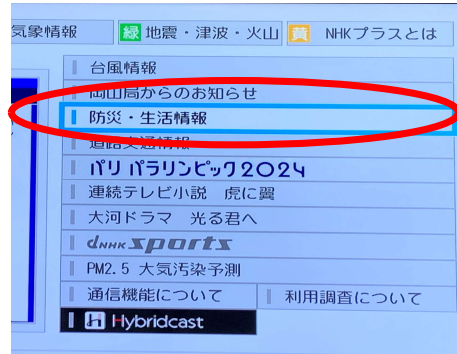
家庭で使える防災情報

線状降水帯のような大雨が降った時、家の中でじっとしているとやはり気になるのが河川の状況です。見に行ってもはダメだとはわかっていますが、今のくらい危険なのかを把握しないと、事前避難するタイミングも掴めませんし、避難所が開いているのかもわからずに避難することは二次災害を招くこととなります。こういう状況をご家庭で確認する方法があります。

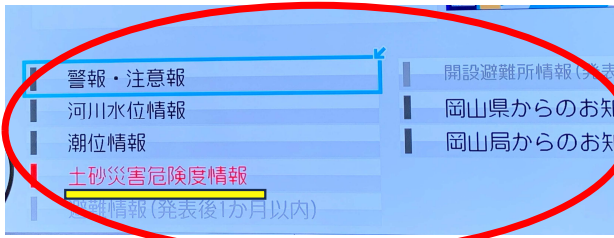
TVで確認

①TVのチャンネルで「NHK総合」を選択し、TVのリモコンの「d」ボタンを押します。

②右側にある「防災・生活情報」を選択。



③以下のように情報が出ますので、見たい情報を選択。右側の「岡山県からののお知らせ」からは、「開設されている避難所の情報」等も見ることができます。警報が出ている場合などは表示の文字が赤くなっています。



避難する際注意したいのが、避難場所までのハザードマップを確認しておくことです。自宅の浸水リスクは低くても、避難所に行くまでの道中が浸水リスクが高い場合は、道中浸水している可能性があります。浸水してしまうと、車道と歩道や側溝の境目がわからなくなり、農業用水に落ちる等の事故が起こったりと、二次災害の危険性が高まります。

豪雨災害では、地震や火災と違って災害に備える時間があります。以上のような災害のデータを確認したうえで、今のくらい危険なのかを把握し、事前の準備することが大事です。以下もご参考にしてください。

～ 事前準備としては ～

①自動車の確保	車庫が低い土地の場合は高台避難	
②庭の排水溝・雨樋の掃除	排水溝や雨樋の排水口の異物を取り除いておく	
③水の侵入を防ぐ	玄関などが低い土地の場合は土嚢を積む	
④停電に備えての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫（冷蔵庫の生もの整理・冷凍庫内の物をなるべく詰める・ペットボトルに水を入れたものをたくさん凍らせて保冷力を持続させる） ・備蓄品の確認（防災リュックの中身の確認、食料品、照明、水、カセットコンロ等） 	
⑤逆流防止	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ・台所の流し（逆流防止として45Lビニール袋に水を入れ重しする） ・風呂（水をためておく） 	
⑥仮設トイレの設置	自宅トイレに45Lビニール袋・45L水入りビニール袋・45Lビニール袋の順に置き、ちぎった新聞紙やペットのトイレシート等を敷く	
⑦避難の準備	特に服用薬、めがね・補聴器、思い出の写真、防寒グッズ、靴スリッパ等も忘れずに。濡れて使えなくなるものはビニール袋に入れた上でチャック式ビニール袋に入れ二重にする	